

紛争鉱物への対応

紛争鉱物調査説明会2017を開催

紛争鉱物調査への理解を深めていただくため、サプライチェーンのメーカ等の担当者向けに紛争鉱物調査説明会を開催しました。

紛争鉱物問題の背景

コンゴ民主共和国(DRC)および周辺9カ国で採掘される鉱物資源が、人権侵害、環境破壊等を引き起こしている武装勢力の資金源となっていることが懸念されています。

これを受けて、2010年7月に米国金融規制改革法が成立し、1502条(紛争鉱物条項)で米国証券取引所に上場する製造業者等に対し、紛争鉱物(錫・タンタル・タングステン・金(略称:3TG))に関する米国証券取引委員会(SEC)への報告と情報開示を義務づけました。SEC上場企業は最終製品ができるまでのサプライチェーンを調査し、そのなかで製錬業者を特定しデュー・ディリジェンスを実施しています。

責任ある鉱物調達検討会の設置

JEITAでは責任ある鉱物調達を実現するとともに、米国金融規制改革法1502条など、これに関連する規制へ対応すべく2012年に「責任ある鉱物調達検討会」(以下「検討会」)を設置し活動を開始しました。

検討会は紛争鉱物問題に取り組む国際的な組織であるCFSI (Conflict-Free Sourcing Initiative) と連携を図っています。CFSIは、製錬所／精製所の監査を行うだけではなく、サプライチェーン全体における取引に武装勢力の資金源となる紛争鉱物が含まれるかどうかを調べる世界共通ツール「紛争鉱物報告テンプレート(CMRT)」を提供しています。サプライチェーン全体におよぶ紛争鉱物調査はこのCMRTを用いて行われています。検討会では、ワシントンDC事務所を通じてCFSIに

参加し、CMRTの作成等の活動に協力しています。

紛争鉱物調査を支援

全国5箇所全12回の紛争鉱物調査説明会を開催

1,130人が参加

6月2日～16日、紛争鉱物調査の実施を支援するため、サプライチェーンメーカー等の実務担当者を対象とした紛争鉱物調査説明会を開催しました。今年は、東京、大阪、名古屋、仙台、福岡の全国5箇所全12回で説明会を開催し、昨年を上回る1,130人ももの参加がありました。

今年は3年ぶりに調査票の設問変更が行われ、その変更点を中心に最新版の調査テンプレート(CMRT5.0)の解説を行いました。加えて、過去の調査結果から見たテンプレートの回答傾向、CSRの観点から拡大傾向にある鉱物調査の最新動向、CFSIサイトの活用方法等を説明しました。



いずれの会場でもたくさんの方にご参加いただきました。
(上:大阪会場、下:名古屋会場)

説明会終了後には参加者からの個別相談も受け付け、紛争鉱物調査への理解を深めていただく機会となりました。



紛争鉱物調査の最新動向や調査に当たっての疑問点等、参加者から多数の質問が寄せられました。

【講師】

開催地	日程	時間	司会	第1部 講師	第2部 講師	参加人数
東京	6月2日(金)	10:00～11:30	パイオニア(株)	パイオニア(株)	住友電工デバイス・イノベーション(株)	106
		13:00～14:30	TDK(株)	(株)JVCケンウッド	住友電工デバイス・イノベーション(株)	110
		15:30～17:00	アルプス電気(株)	TDK(株)	日本電気(株)	113
	6月5日(月)	10:00～11:30	富士通(株)	(株)日立製作所	日本ケミコン(株)	113
		13:00～14:30	(株)日立製作所	(株)フジクラ	KOA(株)	102
		15:30～17:00	(株)フジクラ	日本航空電子工業(株)	KOA(株)	104
大阪	6月7日(水)	10:30～12:00	オムロン(株)	シャープ(株)	住友電工デバイス・イノベーション(株)	78
		15:00～16:30	住友電工デバイス・イノベーション(株)	パナソニック(株)	(株)村田製作所	182
名古屋	6月9日(金)	13:00～14:30	(株)村田製作所	(株)マキタ	コニカミノルタ(株)	52
		15:30～17:00	ローム(株)	(株)マキタ	コニカミノルタ(株)	97
仙台	6月12日(月)	15:00～16:30	アルプス電気(株)	太陽誘電(株)	日本電気(株)	35
福岡	6月16日(金)	15:00～16:30	パイオニア(株)	パナソニック(株)	(株)村田製作所	38
合計						1,130

個別相談は、各司会と講師が対応するとともに、(一社)日本自動車部品工業会より(株)デンソー(6/2東京、名古屋)、矢崎総業(株)(6/2東京、名古屋)、アイシン精機(株)(名古屋)にもご協力いただきました。

【プログラム】

第一部 2013～2016年度紛争鉱物調査の振り返りと今後の課題

- ・紛争鉱物調査の背景と様式
- ・CMRTによる調査結果と傾向(2013年～2016年度)
- ・2016年度調査での課題
- ・CFSIにおける標準的な製錬所(SSN)情報の現状と今後
- ・拡大傾向にある鉱物調査について(CSRの観点から)

第二部 2017年度紛争鉱物調査の留意点

- ・CMRT2017年版の主な変更点
- ・CMRT記入要領(Declaration各設問、Smelter Listに関して)
- ・CFSI ウェブサイトの活用方法
- ・紛争鉱物調査関連の略語

第三部 質疑応答